

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

| | | | | |
|--------|--------------------------------------|--|----|---|
| 市町名 | 富士市 | | 自由 | 1 |
| 課題タイトル | 小規模生産及び新品種農産物生産農家と飲食店・小売店とのマッチング方法調査 | | | |

| | |
|------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等) | 市場等の出荷に適さない小規模生産の農産物や、一般的に知られていない農産物を作っている生産者と、地場野菜を使用・販売したいが仕入れるルートが無い(分からない)飲食店等を結びつけることにより、お互いに情報交換を行い、販路開拓や新メニューの開発など両者にメリットがある関係を築き、地産地消の取り組みを推進していく。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること | <ul style="list-style-type: none"> ・富士市内で作られている小規模生産農産物や珍しい農産物を作っている生産者の調査 ・飲食店・小売店等の意向調査(アンケート等) ・生産者と飲食店・小売店を結びつけるマッチングシステムの検討(なるべく運営コストや利用者が使いやすいシステム) |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等 | 富士市農業協同組合 飲食店組合 富士山観光交流ビューロー 富士市 |
| ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | <ul style="list-style-type: none"> ・会議室の用意 ・各種関係団体の連絡調整 ・調査の同行 |

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

| | | | |
|----------|--|--------------|--|
| 大学 | | 学部等 | |
| ゼミ(担当教員) | | ゼミ連絡先 E-mail | |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

| | |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 産業経済部農政課農業振興担当 |
| 電話番号 | 0545-55-2781(直通) |
| E-mail | nousei@div.city.fuji.shizuoka.jp |
| 28年度担当者 | 農業振興担当 統括主幹 佐野 智一 |

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

| | | | | |
|--------|----------------|--|----|---|
| 市町名 | 富士市 | | 自由 | 2 |
| 課題タイトル | 松林の保全、育成対策について | | | |

| | |
|------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等) | 海岸松林は、海からの風や潮、飛んでくる砂などから、海岸沿いの暮らしを守るためにつくられた森林であり、乾いた養分の少ない海岸土壌では、松以外のほかの木は、ほとんどありません。しかしながら、松くい虫発生により、松が枯れ海岸松林の機能低下し、枯れた松を放置すればさらに、被害が拡大いたします。本市では、松くい虫の防除、被害木の伐倒破碎処理及び、予防のための薬剤散布を継続的に実施してありますが被害は進行している状況であるため、対策が必要である。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること | <ul style="list-style-type: none"> ・予防のための薬剤散布(地上散布・無人ヘリコプター-空中散布)を継続的に実施しているが、松くい虫被害は進行している状況であるため、有効な対策を希望する。 ・松くい虫に強い抵抗性クロマツを補植しているが、成木になっても本当に強いかが疑問であるため、抵抗性クロマツの特性(生存率)について検討を希望する。 ・新年度に、無人航空機「ドローン」を導入し、松くい虫被害の実態調査を効率的な実施とあわせた、研究を希望する。 |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等 | <ul style="list-style-type: none"> ・千本松原関係者等(日本百景、日本の白砂青松100選) ・三保の松原関係者等(富士山の構成遺産) |
| ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | <ul style="list-style-type: none"> ・会議室の貸与 ・関係団体等の紹介 |

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

| | | | |
|----------|--|--------------|--|
| 大学 | | 学部等 | |
| ゼミ(担当教員) | | ゼミ連絡先 E-mail | |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

| | |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 富士市産業経済部林政課 |
| 電話番号 | 0545-55-2784 |
| E-mail | rinsei@div.city.fuji.shizuoka.jp |
| 28年度担当者 | 井出 一徳 |

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

| | | | | |
|--------|--------------------------------|--|----|---|
| 市町名 | 静岡市 | | 自由 | 3 |
| 課題タイトル | JR草薙駅南口グランドデザイン策定に向けた将来像策定への提案 | | | |

| | |
|------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等) | <p>“産学民官連携組織”「草薙駅周辺まちづくり検討会議」において策定された「草薙駅周辺まちづくりビジョン」の実現に向けて、現在、産学民官が集い、「JR草薙駅南口グランドデザイン研究会準備会」を発足させて、南口周辺における将来計画となる「JR草薙駅南口グランドデザイン」の策定に向けた検討を進めている。</p> <p>平成28年度は、準備会及び岸研究室の協働事業として、地域住民の思い描く将来像や公共交通の利便性について、アンケート調査及び分析を行ったところである。</p> <p>今後、29年度以降、これら分析を基に、本地区の将来像策定を行っていく。</p> |
| 希望する調査研究内容や期待すること | <p>①南口の将来像の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県大と共同で実施した地元アンケート調査の分析等を基に、南口のあるべき姿及びあるべき姿実現に向けた取組み事業等について、研究会準備会と連携し、検討を行う。 <p>②実施事業案の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組事業については、草薙神社通りの利活用方針や公共交通の充実を狙った既存路線の再編等検討を行う。 <p>③結果のとりまとめ</p> |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等 | <ul style="list-style-type: none"> ・草薙駅周辺まちづくり検討会議 ・JR草薙駅南口グランドデザイン研究会準備会 等 |
| ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | <ul style="list-style-type: none"> ・検討会議及び研究会準備会の開催については、地域の自治会館や民間施設の利用が可能である。 ・また、草薙地区の各種団体等への紹介等について、適宜対応可能である。 |

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

| | | | |
|----------|--------|--------------|--|
| 大学 | 静岡県立大学 | 学部等 | 経営情報学部／経営情報イノベーション研究科 |
| ゼミ(担当教員) | 岸講師 | ゼミ連絡先 E-mail | kishi@u-shizuoka-ken.ac.jp |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

| | |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 都市局 都市計画部 清水駅周辺整備課 駅周辺計画係 |
| 電話番号 | 054-354-2018 |
| E-mail | toriizuka_bz@city.shizuoka.lg.jp |
| 28年度担当者 | 鳥居塚 安伸 |

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

| | | | | |
|--------|---------------------------|--|----|---|
| 市町名 | 静岡市 | | 自由 | 4 |
| 課題タイトル | 空き家を活用した新たなビジネスモデルの検討について | | | |

| | |
|------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等) | <p>近年、適切に管理が行われていない空家等が、防災、衛生、景観等の市民の生活環境に深刻な影響を及ぼしており、市民の生命、身体及び財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図り、空家等の活用を促進するため、対応が必要となっています。</p> <p>こうした背景から「空家等対策の推進に関する特別措置法(平成26年11月27日法律第127号)」が施行されました。</p> <p>本市においては、近年、平均世帯人口数の減少と人口減少によって空家等が増加傾向にあります。また、空家等に関する相談件数も増加しており、空家等に関する情報の周知、所有者への助言等、その対策が求められる状況となってきています。</p> <p>空き家の活用を図り、良質な住環境の保全を維持することは、今後の住宅ストック循環型社会に必須であり、そのビジネスモデルを検討することによって、今後の空き家対策のヒントがみえてくると考えるため。</p> |
| 希望する調査研究内容や期待すること | <ul style="list-style-type: none"> ・調査や研究によって、今まで考え付かなかった検討すべき内容が分かる。 ・大学生の視点から考えることによって、新鮮な考え方ができる。 |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等 | <ul style="list-style-type: none"> ・不動産関係団体(公益社団法人、静岡県宅地建物取引業協会、公益社団法人全日本不動産協会 静岡県本部) ・公益財団法人 静岡市まちづくり公社 |
| ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | <ul style="list-style-type: none"> ・会議室貸与 ・関連団体との連絡、調整 ・情報提供 |

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

| | | | |
|----------------|--|------------------------|--|
| 大学 ゼミ(担当教員) | | 学部等 ゼミ連絡先 E-mail | |
|----------------|--|------------------------|--|

連絡先(課題内容を照会することがあります)

| | |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 住宅政策課 企画係 |
| 電話番号 | 054-221-1285 |
| E-mail | juutaku@city.shizuoka.lg.jp |
| 28年度担当者 | 白井 |

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

| | | | | |
|--------|----------------------------|--|----|---|
| 市町名 | 静岡市 | | 自由 | 5 |
| 課題タイトル | 静岡市におけるS型デイサービスの実態に関する調査研究 | | | |

| | |
|------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等) | 静岡市では、今後S型デイサービスの実施場所を市内に広げていく予定であるが、その事業の継続につながる効果的な内容、事業を評価する際に必要な項目などについては未だ検討に至っていない。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること | 本調査研究では静岡市におけるS型デイサービスの継続性について具体的に検討することを目的とし、現在S型デイサービスを利用している人の健康状態、健康への意識、社会参加の意向、生活の充実さ等の状況を調査し、事業の成果として何を今後見ていくべきかを検討する資料を提供していただきたい。 |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等 | 地区社会福祉協議会、市社会福祉協議会、ボランティア団体、地域包括支援センター等 |
| ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 調査項目の検討の際に必要な専門家会議のメンバーの紹介、会議室の貸与、調査実施時におけるモデル地域とその担当者の紹介など |

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

| | | | |
|----------|--|--------------|--|
| 大学 | | 学部等 | |
| ゼミ(担当教員) | | ゼミ連絡先 E-mail | |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

| | |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 地域包括ケア推進本部 |
| 電話番号 | 054-221-1575(内81-4470) |
| E-mail | chiikikea@city.shizuoka.lg.jp |
| 28年度担当者 | 木下 |

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

| | | | | |
|--------|-----------------|--|----|---|
| 市町名 | 静岡市 | | 自由 | 6 |
| 課題タイトル | 保育者確保政策のための基礎調査 | | | |

| | |
|------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等) | 本市においては、平成30年度の年間を通じた待機児童0人の達成を目標に、施設整備等の受け皿確保を積極的に推進しているところであるが、定員の拡大に伴う保育者の確保が、全国的にも喫緊の課題となっている。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること | 潜在保育士の離職理由や再就職しない理由、さらには、資格を有しているにも関わらず、保育者として就職しなかった理由等を本調査により明らかにすることにより、保育士確保に関する施策の検討基礎資料としたい。 |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等 | 常葉大学保育学部卒業生を主な対象として、アンケート調査・インタビューを実施予定であるが、静岡市内の私立保育園・こども園等に対する調査も実施予定(未定) |
| ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 関連団体、私立園の紹介 |

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

| | | | |
|----------|-----------------|--------------|--|
| 大学 | 常葉大学 | 学部等 | 保育学部 |
| ゼミ(担当教員) | 山本 睦ゼミ(山本 睦准教授) | ゼミ連絡先 E-mail | c-natsu@fj.tokoha-u.ac.jp |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

| | |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 幼保支援課 総務・事業者指導係 |
| 電話番号 | 054-354-2620 |
| E-mail | youho@city.shizuoka.lg.jp |
| 28年度担当者 | 村松 正博 |

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

| | | | | |
|--------|-------------------------|--|----|---|
| 市町名 | 静岡市 | | 自由 | 7 |
| 課題タイトル | 麻機遊水地における自然環境の保全と活用について | | | |

| | |
|------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等) | 43年前の七夕豪雨を契機に整備された麻機遊水地は、掘削工事によって攪乱された埋土種子が発芽し、ミズアオイやオニバス等の絶滅危惧種を含む多様な動植物が生息する貴重な自然環境となっており、適切な維持管理が求められている。 一方で、自然再生事業に携わる市民の数は増えておらず、市民の関心を集めるため、イベントや地域の特産農産品のPRなど遊水地の活用策を模索しているところである。 植物や昆虫、魚類、鳥類など学識経験者の意見を広く求めている。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること | 希少種の保全方法及びセイタカアワダチソウ等の外来種・ヒメガマ等の大量繁殖種の効果的な駆除方法、適正な環境維持のための管理方法の確立 |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等 | 麻機遊水地保全活用推進協議会：自然再生法に基づき、遊水地の自然環境の保全・再生や地域活性化のための資源としての賢明な活用について検討・活動を行っている団体。 |
| ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 会議室貸与、関連団体の紹介等 |

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

| | | | |
|----------|--|--------------|--|
| 大学 | | 学部等 | |
| ゼミ(担当教員) | | ゼミ連絡先 E-mail | |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

| | |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 緑地政策課 麻機遊水地緑化推進係 |
| 電話番号 | 054-221-1251 |
| E-mail | ryokuchi@city.shizuoka.lg.jp |
| 28年度担当者 | 杉本 眞悟 |

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

| | | | | |
|--------|--|--|----|---|
| 市町名 | 静岡市 | | 自由 | 8 |
| 課題タイトル | 静岡市のものでづくり産業・製品に対する市民意識調査及び市民理解の醸成に向けた研究 | | | |

| | |
|------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等) | <p>静岡市では、「お茶」「水産加工物」等の農林水産分野や「伝統工芸品」に関するPR事業及び地産地消に向けた取組は推進している一方、その他の「工業製品」に関する取組は実施していないことから、今後、市内で生産される工業製品及び生産事業所等について積極的な情報発信を行うことで、工業製品についても地産地消を促進し、地域経済の好循環を生み出したいと考えている。</p> <p>上記取組を実施するに当たり、現在、静岡市のものでづくり産業及び製品に対する市民の理解度や認知度等についての把握ができていないことから、それらの把握等を行うとともに、その結果を踏まえ、より効果的な取組とするための方策を検討する必要がある。</p> |
| 希望する調査研究内容や期待すること | <p>◆静岡市のものでづくり産業及び製品に対する市民理解度の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に立地している大手事業所等の存在及び市経済に与えている影響力に関する理解度の調査。 ・市内で生産される工業製品の認知度及び購入状況等の調査。 <p>◆市民に対する認知度・理解度を高めるための方策の検討</p> |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等 | <ul style="list-style-type: none"> ・静岡商工会議所 ・大手家電量販店 |
| ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | <ul style="list-style-type: none"> ・市有産業支援施設の会議室 |

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

| | | | |
|----------|--|--------------|--|
| 大学 | | 学部等 | |
| ゼミ(担当教員) | | ゼミ連絡先 E-mail | |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

| | |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 産業振興課 工業振興係 |
| 電話番号 | 054-354-2058 |
| E-mail | sangyoushinkou@city.shizuoka.lg.jp |
| 28年度担当者 | 松田 清紀 |

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

| | | | | |
|--------|----------------------|--|----|---|
| 市町名 | 静岡市 | | 自由 | 9 |
| 課題タイトル | 清水区民における投票意識に関する調査研究 | | | |

| | |
|--------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等) | <p>現在、国では「投票環境の向上方策等に関する研究会」を開催し、有権者が投票しやすい環境を整備するための具体的方策等について、研究・検討を行なっている。</p> <p>また、それにより、平成28年には「共通投票所制度の創設」、「期日前投票の投票時間の弾力化」、「投票所における選挙人名簿対照のオンライン化」等について、公職選挙法又は公職選挙法施行令の改正が行われ、7月の参議院議員選挙から適用されている。</p> <p>一方、清水区では、基本的には1市2町の合併前の投票所をそのまま引き継いでおり、選挙当日には政令市最多の79投票所を設置し、期日前投票所も10箇所設けてはいるが、昨今の生活環境の変化に対応したものとは言い難く、当日投票所においては自治会館等民間施設には駐車場がない所も多く、期日前投票所においても区北部に片寄った配置になっているという懸念がある。</p> <p>また、国の「ICTを活用した投票環境の向上」を図るには、オンライン化やネットワークの構築等、セキュリティの確保が必要になるが、本区における投票所の約半数を占める自治会館等民間施設では困難が予想され、最多の投票所を維持するための投票事務従事者の確保による経費負担に、更に重くのしかかる経費が想定される。</p> <p>そのため、近い将来、共通投票所(当日指定された投票所以外でも投票が可能な投票所)や期日前投票の投票時間の弾力化(前2時間、後2時間の延長)の効果のある投票所の設置を検討していくうえで、現状の当日投票所の見直しと期日前投票所の適正配置が重要になると考えるため、それらに対する清水区の有権者の意識を調査するものである。</p> |
| 希望する調査研究内容や期待すること | <p><調査内容></p> <p>①共通投票所の設置を期待しているか。</p> <p>②期日前投票所の時間延長を期待しているか。</p> <p>③現在の期日前投票所が、全て(10箇所)有効に機能しているか。</p> <p>④投票所の設置場所が、仮に概ね小学校区域になった場合の投票参加への影響。</p> <p>⑤投票所の環境として重要視すること、期待すること。(投票所までの距離、駐車場の有無、エアコン等の環境設備の有無、従事者の年齢、投票所内の雰囲気等)</p> <p>⑥投票参加の有無を判断するうえで重要視すること。(候補者の政策、投票所の環境等)等、投票に行く人・いかない人の意識に、投票環境がどの程度影響を与えるか、また何を重要視して判断しているのか。</p> <p><期待すること></p> <p>現当日投票所の分析(一番遠い距離、駐車場の有無等)、期日前投票の利用状況実績等の現状把握。</p> |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等 | 清水区選挙管理委員会事務局 |
| ゼミに対して可能な支援 | 会議室の貸与 |

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

| | | | |
|----------|--|--------------|--|
| 大学 | | 学部等 | |
| ゼミ(担当教員) | | ゼミ連絡先 E-mail | |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

| | |
|---------|-------------------------------|
| 所属(課、係) | 清水区選挙管理委員会事務局 |
| 電話番号 | 054(354)2418 |
| E-mail | sakai_bkb@city.shizuoka.lg.jp |
| 28年度担当者 | 選挙係 酒井強志 |

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

| | | | | |
|--------|--------------------------------|--|----|----|
| 市町名 | 静岡県 | | 自由 | 10 |
| 課題タイトル | 「大学生がシカ・イノシシを獲る。」上での課題と解決策について | | | |

| | |
|------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等) | <p>県内では、これまで捕獲の主体であった銃による狩猟者が激減し(狩猟免許所持者数:平成11年度 6,183件→平成26年度3,211件)、また平成10年度には約4割であった狩猟者に占める60歳以上の人の割合が平成19年度以降は7割近くに迫り(平成26年度末は67.5%)、高齢化が進んでいる。近年多様化、深刻化する野生動物に係わる諸問題の解決には、狩猟免許や技術を有する若手の育成が急務と考えられるが、スムーズに世代交代が進んでいない現状にある。</p> <p>そうした中、一昨年(平成27年)5月に「鳥獣保護法」が改正され、施行された「鳥獣保護管理法」では、これまで「20歳以上」であったわな及び網猟の狩猟免許取得の要件が、「18歳以上」に緩和され、大学1年生から可能となっている。</p> |
| 希望する調査研究内容や期待すること | <p>一人でも多くの学生に野生動物管理(捕獲)の担い手として新たに参加してもらうため、大学や学生の目線から、学生が野生動物の捕獲に取り組む上での課題や解決策について、行政やベテラン猟師、あるいは既に先行して捕獲に取り組んでいる県内及び近隣都県の若手狩猟者等から情報収集するなど調査研究し、課題解決についての提案を期待する。</p> |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等 | <p>一般社団法人静岡県猟友会、一般社団法人山梨県猟友会青年部、東京農工大学狩部、酪農学園大学狩猟管理学研究室、伊豆市、富士宮市、静岡県警(生活保安課)等</p> |
| ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | <p>関連団体の紹介、狩猟免許取得のための講習、捕獲用わな具の貸与等</p> |

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

| | | | |
|----------|--------------------------------|--------------|--|
| 大学 | 常葉大学、静岡大学、〔静岡県立大学〕 | 学部等 | 社会環境学部(常葉大)、農学部(静大)、〔食品栄養科学部(県立大)※〕※提案ゼミとはならない |
| ゼミ(担当教員) | 山田辰美(常葉大)、水永博己(静大)、〔市川陽子(県立大)〕 | ゼミ連絡先 E-mail | yamada@fi.tokoha-u.ac.jp mizunaga@agr.shizuoka.ac.jp [ichity@u-shizuoka-ken.ac.jp] |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

| | |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 自然保護課 鳥獣捕獲管理班 |
| 電話番号 | 054-221-3332 |
| E-mail | shizenhogo@pref.shizuoka.lg.jp |
| 28年度担当者 | 大橋正孝 |

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

| | | | | |
|--------|--------------------|--|----|----|
| 市町名 | 静岡県 | | 自由 | 11 |
| 課題タイトル | ハラール対応の食品・化粧品素材の開発 | | | |

| | |
|------------------------------|---|
| 課題の概要(背景や理由等) | オリンピックを控え、製品開発にもグローバル化が求められている中、フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトで実施した高付加価値食品開発の研究会で生まれた成果品を、イスラム教徒を含む誰もが使える製品とし、さらなる販売の強化を図る。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること | 県内食品製造業者と共に、ハラール対応に必要なこと、製造現場で気をつけるべきことについて調査研究を行う。 また、消費者がかごに入れレジに持ち込むまで、口にするまでの出口戦略を構築する。 |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等 | ・公益財団法人静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター ・フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト参画企業・機関 ・県政記者クラブ |
| ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | ・会議室の貸与(フーズ・サイエンスセンター) ・関連団体の紹介 |

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

| | | | |
|----------|--------------------|--------------|--|
| 大学 | 静岡産業大学、静岡大学、静岡県立大学 | 学部等 | |
| ゼミ(担当教員) | 堀川、朴、岩崎 | ゼミ連絡先 E-mail | |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

| | |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 新産業集積課 |
| 電話番号 | 054-221-3588 |
| E-mail | megumi1.ishii@pref.shizuoka.lg.jp |
| 28年度担当者 | 石井 |

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

| | | | | |
|--------|-----------------------------|--|----|----|
| 市町名 | 静岡県 | | 自由 | 12 |
| 課題タイトル | 静岡県内の若者に献血を普及させるための方策に関する研究 | | | |

| | |
|------------------------------|--|
| 課題の概要(背景や理由等) | 近年、少子高齢化の進展に伴い、輸血用血液を必要とする高齢者が増加する一方で、10代から30代の献血者が大きく減少している。平成27年度の本県における10～30代の献血者数は、10年前と比較すると3万5千人以上減少した。日本赤十字社のシミュレーションでは、2027年には、約85万人の献血者が不足するとの試算が示されており、将来の血液製剤の安定供給に向けて、今後の献血を支える大学生を含めた若い世代への献血の普及が重要である。 |
| 希望する調査研究内容や期待すること | 県内大学生等の学生を対象とした献血意識調査を実施し、大学生等の献血に対する考え方を把握した上で、若い世代の献血者を増加させるための方法について検討する。大学のゼミナールにおいて、大学生が同世代の献血普及啓発について研究することにより得られる方策に期待する。 |
| 情報収集や意見交換等で連携する団体等 | 静岡県赤十字血液センターが県内の献血に関する情報を提供する等、協力することができる。 |
| ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等) | 静岡県赤十字血液センターを紹介することが可能である。 |

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

| | | | |
|----------|--|--------------|--|
| 大学 | | 学部等 | |
| ゼミ(担当教員) | | ゼミ連絡先 E-mail | |

連絡先(課題内容を照会することがあります)

| | |
|---------|--|
| 所属(課、係) | 健康福祉部生活衛生局薬事課薬事企画班 |
| 電話番号 | 054-221-2411 |
| E-mail | yakuji@pref.shizuoka.lg.jp |
| 28年度担当者 | 小林千恵 |